# TIMEX
http://www.timexwatch.jp

# W-154

Cal.939

取扱説明書
Instruction Book

この度はTIMEXウォッチをお買い上げいただき有難うございます。
TIMEXウォッチの機能をご理解いただき、製品を正しくご使用いただくため、取扱説明書はよくお読み下さい。また、取扱説明書はお手元に保管していただき、必要に応じて、ご参照下さいますよう、お願い致します。

## 1. 機能

・アナログ（針）で、時、分、秒、表示
・デジタルで時、分、秒、（12時間／24時制）表示
・カレンダー
・アラーム（毎日、平日のみ、土日のみ、の3種類選択設定ができます）
・カウントダウンタイマー（24時間以内、リピートタイマーの設定もできます）
・100時間未満クロノグラフ（最大99ラップまでカウントでき、50ラップまで保存できます）
・毎正時の時報
・アナログ/デジタルのINDIGLO®NIGHT-LIGHTとNIGHT-MODE®

## 2. 基本操作

## 3. アナログの時刻設定

リューズを引き出すと、秒針が止まります。（あらかじめ12時位置で止めてから）リューズを回して希望の時刻に設定し、時報などに合わせてリューズを押しこむと始動します。

## 4. デジタルの設定

・図のMODE.START/SPLIT.STOP/RESET.SET/RECALL.INDIGLO文字位置のボタンを押すことで各機能の設定を行ないます。
・MODEを押すごとに時刻表示からクロノグラフ、タイマー、アラームと設定が変ります。
・表示の修正をする際に点滅の状態を2分10秒以上放置しておきますと通常の時刻表示に戻ってしまいますのでご注意下さい。

## 5. デジタルの時刻／カレンダーのセット

1.時刻の表示面からSET/RECALLを押し続けると、HOLD.SETの文字が出てすぐ、時の表示が点滅になります。START/SPLIT（数字の繰り上げ）かSTOP/RESET（数字の繰り下げ）を押して、希望の時数字にします。
（注）時の設定は、午前はA、午後はPの文字が秒表示の上に出ていますので、設定する時の午前/午後を確認して下さい。但しこのモデルは12時/24時制表示の切換え設定ができますので、もし24時制になっている場合は、A.Pの表示は出ません
2.続いて、MODEを押します。分の表示が点滅します。START/SPLITかSTOP/RESETを押して希望の分数字にします。（尚ボタンは押し続けると表示の早送りができます）
3.続いてMODEを押します。秒表示が点滅します。時報に合わせて、START/SPLITかSTOP/RESETを押すと、00表示から始動します。
4.次にMODEを押します。曜表示が点滅します。START/SPLITかSTOP/RESETを押して希望の曜表示（SU/日、MO/月、TU/火、WE/水、TH/木、FR/金、SA/土）にします。
5.続いてMODEを押します。月の表示が点滅します。START/SPLITかSTOP/RESETを押して希望の月表示にします。
6.続いてMODEを押します。日表示が点滅します。START/SPLITかSTOP/RESETを押して希望の日表示にします。
7.次にMODEを押します。12-HR（12時制）もしくは24-HR（24時制）の表示が出ます。START/SPLITかSTOP/RESETを押して希望の表示にします。
8.続いてMODEを押します。mmdd（月表示を大きく、日表示を小さく）か、ddmm（日表示を大きく月表示を小さく）の表示が出ます。START/SPLITかSTOP/RESETを押して希望の表示にします。
9.続いて、MODEを押します。CHM.ON（毎正時時報を鳴らす）もしくはCHM.OFF（時報を鳴らさない）のいずれかが表示されますのでSTART/SPLITかSTOP/RESETを押して希望の表示にします。
10.続いてMODEを押します。BEP.ON（インディグロボタンを除くいずれのボタンを押したときにも確認音が出る）もしくはBEP.OFF（ボタンを押したとき音は出ません）の表示が出ます。START/SPLITかSTOP/RESETを押して希望の設定にします。（CHMとBEPのいずれか、もしくは両方がONになっていると、時刻表示面の下に♪マークが表示されます。）
11.次にMODEを押すと時の点滅に戻りますのでSET/RECALLを押して点滅を止めてセット終了です。（時刻表示面でSTART/SPLITを押すと、カレンダー表示が見られます。約5秒以上押しているとSELECT表示に引き続いてカレンダー表示に固定します。再び5秒以上押しているとSELECT表示に引き続いて時刻表示に戻ります。）

## 6. クロノグラフ 計測

（クロノグラフ計測中は表示面に ⏱ マークが出ています。）
LAPタイム計測
（例）42.195Kを走るとして、各10Kごとの区間タイムを計測し保存するとき。
SPLITタイム計測
（例）42.195Kを走るとして、10Kごとの累積タイムを計測し保存するとき。

1. LAPタイム計測
MODEを押して、CHRONO→00：00ooの表示にします。続いてSET/RECALLを押すとSET→FORMATからLAPかSPLITの文字が点滅表示になります。START/SPLITか、STOP/RESETを押して、LAP計測の場合はLAPの点滅表示にしてからSET/RECALLを押し00：00oo表示に戻します。
計測スタート…START/SPLITを押します。1LAPの計測を開始します。
第2LAP…START／SPLITを押します。1LAPのタイムと1LAPを示す表示が交互に出て表示面上では計測停止になっていますが自動的に2LAPの計測に入っています。10秒経過すると2LAPの計測表示に戻ります。以降各LAPでも同一のシステムになります。（尚停止表示をすぐ計測表示に戻したいときはMODEボタンを押して下さい。）
第3LAP…START/SPLITを押します。3LAPの計測を開始します。
停止…STOP/RESETを押します。計測は停止しました。表示は3LAPのタイムと、3LAPを示す3の数字とその上にLAPの文字が交互に出て表示面は計測停止になります。（尚この状態は3LAPの途中で停止していることになりますので、この状態から3LAPめを引き続き計測する場合はSTART/SPLITを押すと3LAPめの計測に戻ることができます。）
消去…STOP/RESETを押し続けるとHOLDの文字になりすぐ00：00oo表示に戻ります。注（計測を消去すると保存タイムも消去されますのでご注意下さい。）タイムは最大99LAPまで計測できますが、保存できるタイムは50LAPまでですので、50LAP以降の計測タイムは、保存されません。ご注意下さい。
2. タイムの呼び出し
最終計測LAPタイム停止の状態からSTART/RECALLを押します。RECALLの文字になり、1LAP目のタイムが表示されます。表示はラップタイムとラップ数が交互に点滅しています。START/SPLITを押すごとに2.3.4.5.LAPと保存タイムを呼び出します。STOP/RESETを押すごとに逆数5.4.3.2.1LAPと保存タイムを呼び出します。保存タイムを消去する場合はSET/RECALLを1回押してからSTOP/RESETを押し続けるとHOLDから00：00ooに戻ります。
3. SPLITタイム計測
MODEを押してCHRONO-00:00ooの表示にします。SET/RECALLを押すとSET FORMAT表示に引き続いてSPLITの文字が点滅になっている事を確認して下さい。もしLAPの点滅になっている場合は、START/SPLITかSTOP/RESETを押して、変えて下さい。
再びSET/RECALLを押して00:00ooにします。計測方法はLAPタイム計測と同じですが、各計測時点でのタイムは各区間の単独ではなくスタート時点からの累積されたタイムが保存されて行きます。
SPLITタイムの呼び出し
LAPタイムの呼び出しと同じです。但し保存されているSPLITタイムでは各区間ごとの累積タイムになります。

## 7. カウントダウンタイマーの設定方法

（タイマーが作動していると表示面に砂時計 ⧗ のマークが点滅します。）
例（12時間12分12秒に設定するとします）
1.MODEを押してSET/RECALLを押すとSET表示に引き続いて時表示が点滅します。START/SPLIT、もしくはSTOP/RESETを押して、12にします。（ボタンは押し続けると早送りできます）
2.続いてMODEを押します。分の表示が点滅になります。START/SPLITもしくはSTOP/RESETを押して12にします。
3.次にMODEを押します。秒表示が点滅します。START/SPLITもしくはSTOP/RESETを押して12にします。
4.続いてMODEを押します。REPEATもしくはONCEの文字の点滅になります。REPEAT（設定したタイムをくり返す）ONCE（設定したタイムを一度で停止）それぞれ使用したい方の表示を点滅させます。START/SPLITかSTOP/RESETを押して切り換えます。（REPEATに設定すると表示面にくり返しを示すマークがでます）
5.次にSET/RECALLを押すと12:12.12と設定できました。タイマーのスタートはSTART/SPLITを押すと逆算を開始します。設定時刻に達すると、アラーム音でしらせます。タイマーを途中で停止するときは、STOP/RESETを押して下さい。再度押すと元の設定時刻に戻りますのでご注意下さい。途中停止から再スタートするときは、START/SPLITを押して下さい。尚、設定時刻に達したときのアラーム音を途中で止めるときは、本体のどのボタンを押しても止めることができます。（タイマー設定時刻が14秒以下の設定でリピート（繰り返し）になっている場合はアラーム音は1回（ピッ）と鳴るだけです）

## 8. アラームの設定

1.MODEを押してALARMアラーム設定時刻の表示にします。
例（午前6時35分に設定するとします）SET/RECALLを押すとＳＥＴ表示に引き続き時の表示が点滅します。START/SPLITかSTOP/RESETを押して6にします。
（注）通常の時刻設定を12時制にしてありますと、アラーム設定も12時制になりますので、AM（午前）かPM（午後）の文字が出ていますのでSTART/SPLITかSTOP/RESETを押して、午前6時のときはAMに変えます。（24時制にしてあるときは、AM.PMの文字は出ません）12時制の場合はもう一度MODEを押します。
2.続いてMODEを押します。START/SPLITかSTOP/RESETを押して35にします。続いて、MODEを押します。DAILY.WKDAY.WKENDのいずれかの文字が点滅になります。設定アラームを例として毎日午前6時35分に鳴らすときは、DAILYの点滅に、月～金のみで土．日は鳴らさないときはWKDAYに、土、日のみ鳴らすときはWKENDの文字をそれぞれ点滅表示になるように、START/SPLITかSTOP/RESETを押して変えます。次にSET/RECALLを押して終了です。尚設定したアラーム時刻を鳴らさないでおくことも出来ます。ALARMの設定表示状態でSTART/SPLITもしくはSTOP/RESETを押すごとにALM.ONとALM.OFFの文字が交互に出ます。
鳴らさないときはALM.OFFにしておきます。鳴らすときはALM.ONに変えます。
表示面には鳴ることを示す目覚し時計のマークが表示されて、アラームが鳴るとマークが点滅します。

## 9. INDIGLO® NIGHTLIGHT／NIGHT-MODE® 機能

EL（エレクトロルミネッセント）テクノロジー（米国特許4、527、096、4、775、964）によりINDIGLOを押すと文字盤、表示板が発光し、夜間や暗い所でも見易くなります。
NIGHT-MODE
INDIGLOを約3秒間押していると、アラーム音と同時にNIGHT-MODEが、設定されます。この設定では、本体のいずれのボタンを押してもライトが3秒間点灯します。設定を解除するときは、再度INDIGLOを3秒間押します。また一定時間経つと、自然に解除されます。

## 10. 防水性

時計が防水の場合、水深または〰〰マークが表示されています。

| |
|---|
| **非防水性**<br>汗などでもケース内に浸水しますので取り扱いには十分な注意が必要です。 |
| **30M・3気圧 → 日常生活防水**<br>水中でのご使用は不可能です。雨・手洗いの際の水しぶきに耐えうる程度の防水性です。 |
| **50M・5気圧 → 日常生活防水**<br>水中でのご使用は不可能です。水仕事に耐えうる程度の防水性です。 |
| **100M・10気圧 → 日常生活強化防水**<br>水泳程度のご使用は可能です。 |
| **200M・20気圧 → 日常生活強化防水**<br>水中でのご使用は可能です。但し、飽和潜水・空気潜水にはご使用できません。 |

警告：防水性を維持するため、水中ではボタンは一切押さないで下さい。
1.時計の防水性は表面ガラス、リューズ、ケースが無傷である場合に限り保たれます。
2.この時計はダイバーウォッチではありません。ダイビングに使用しないで下さい。
3.時計に塩水がかかった場合は真水ですすいで下さい。
4.防水機能表示をご確認の上、使用可能範囲に添って正しくご使用下さい。
5.水に関するスポーツなどでご使用の際、瞬間的に耐圧限界を超える衝撃が加わった場合には浸水する場合があります。
6.防水時計であっても入浴中のご使用はお避け下さい。
7.シャワーや蛇口からの水圧は高水圧の恐れがありますのでお避け下さい。
8.防水機能を超えたご使用による故障の場合は、特別な場合を除き有償修理対応となります。

## 11. 電池寿命

・モデルによって電池寿命が異なります。この腕時計の電池寿命は、約3.5年です。
・電池寿命は新しい電池をセットしてからの持続年数です。
・電池寿命は1日１秒のINDIGLOナイトライトを使用した場合を想定したものです。
・時計精度に遅れが生じたりINDIGLOナイトライトが暗くなった場合は電池交換を必要としている可能性がありますので弊社に電池交換をご依頼下さい。

## 12. 電池についてのお願いとご注意

電池について
・時計をお買い求めいただいた際に組み込まれている電池は、機能・性能を見るためのモニター用です。電池寿命に満たない場合もございますので、予めご了承下さい。
・電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、液漏れなどによる故障の原因となりますので、お早めに交換をして下さい。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。
警告
・破損の恐れがありますので、お客様ご自身で電池を時計から取り外さないで下さい。
・やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はお子様の手の届かないところに保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は、身体に害を及ぼす可能性がありますので、直ちに医師にご相談下さい。
注意
・破損・発熱・発火などの恐れがありますので、電池を分解、ショート、加熱、火に入れるなどの危険行為をしないで下さい。
・ご使用の電池は充電式ではありません。液漏れや破損を生じる恐れがありますので、絶対に充電はしないで下さい。
・常温（5℃～35℃）からはずれた温度環境下に長時間放置すると、電池寿命が短くなったり、液漏れを生じることがあります。

## 13. 時計の精度

TIMEX社の規格では、クォーツウォッチは月差±15秒以内、メカニカルウォッチ（機械式）は日差±30秒で調整されています。ただし、ご使用の条件により変化することもありますので、予めご了承下さい。

## 14. ご使用上の注意とお手入れ方法

**日常のお手入れ**

・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビや腐食で衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となることがありますので、常に清潔にしてご使用下さい。
・時計を外した時は、柔らかい布などで汗や水分を拭き取るだけでケース・バンド・パッキンの寿命が違います。
・皮バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽く拭いて下さい。擦るように拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。
・皮バンドは素材の性質上、色落ちする場合があります。特に水や汗などで濡れると色落ちしやすくなります。衣類・持ち物・肌などに色落ちが付着した場合は、直ちに時計・バンドを取り外して良く拭き取って下さい。
・金属バンドは、柔らかい歯ブラシなどを使い、金属バンドのみを水で洗って下さい。バンド部分の取り外しが可能であれば、取り外してから洗浄して下さい。バンドの取り外しが不可能な場合は、時計本体に水がかからないようにご注意下さい。
・ウレタン・プラスチックバンドは、特にお手入れの必要はありませんが、汚れがひどい場合は水で洗浄して下さい。バンド部分の取り外しが可能であれば、取り外してから洗浄して下さい。バンドの取り外しが不可能な場合は、時計本体に水がかからないようにご注意下さい。通常のご使用でも素材の性質上、硬化・変色する場合があります。
・非防水時計は、湿度のあるところや汗などにご注意下さい。万一、濡れた場合は、直ちに吸湿性のよい布などで水分を吸い取って下さい。
・日常生活強化防水時計（10気圧・20気圧）を海水などでご使用になった場合は、洗剤や薬品などは使用せずに、水を使用して水分や汚れを拭き取って下さい。
・回転式ベゼル・リュウズ・プッシュボタン類は、汚れが付着していると機能の妨げとなりますので、清潔にしてご使用下さい。
・時計・バンドに科学薬品・ガスなどが付着すると、変形・変色・破裂する場合もありますので、絶対に付着させないで下さい。

**かぶれやアレルギーについて**

・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用下さい。
・かぶれやすい体質の方や体調によっては、皮膚に異常がある場合があります。
・腐食・汚れ・汗などが、皮膚の異常を引き起こす原因となる場合がありますので、時計は清潔にしてご使用下さい。万一、皮膚などに異常を生じた場合は、直ちにご使用を中止して医師にご相談下さい。

**保管について**

・「0℃～50℃」からはずれた温度では、機能が低下したり、停止したりする場合があります。
・磁気や静電気の影響があるところに放置しないで下さい。
・極端にホコリの多いところに放置しないで下さい。
・強い振動のあるところに放置しないで下さい。
・薬品にふれるところに放置しないで下さい。
・温泉や防虫剤の入った引き出しなど特殊なところに放置しないで下さい。

## 15. 時計外装部品の損傷・破損について

・時計外装部品の損傷・破損は、保証期間内に於いても特別な場合を除き有償修理対応となります。又、損傷・破損が原因であっても、紛失された場合は保証の範囲ではありません。
・回転ベゼルリング・リュウズ・ボタン・ハンドバックル等の可動部分の損傷・破損は保証の範囲ではありません。
・ご購入頂いてから間もない商品以外の時計のナイロンバンド・皮バンドの裁縫のほつれは、特別な場合を除き有償修理応対となります。

## 16. アフターサービス

**修理を依頼される場合**

時計の不具合及び修理は、不具合箇所を明記していただき下記宛にご郵送下さい。
弊社発行の保証書を必ずご同封下さい。添付のない場合は、保証期間内に於いても有償対応となりますので予めご了承下さい。

**予めご了承いただきたいこと**

消耗部品は経時変化しますので、必要に応じて点検及び部品交換をお申し付け下さい。
修理の際、「代替部品」を使用させていただく場合や、修理が困難な場合は「同等品との交換対応」とさせていただく場合があります。
特別注文された製品の修理では、純正部品での対応となる場合があります。
日本国内未入荷モデルは、修理対応が「不可能」な場合や「同等品との交換対応」とさせていただく場合があります。

日本総代理店
DKSHジャパン株式会社　カジュアル・ライフスタイル
〒108−8360　東京都港区三田3丁目4番19　DKSH三田ビルディング
TEL：03（5441）4515　FAX：03（5441）4522
URL：http://www.timexwatch.jp